



(届出続中)

# 人間福祉学部、スタート。

*Mastery for Service*

関西学院大学 <http://www.kwansei.ac.jp>

[お問い合わせ]  
西宮上ヶ原キャンパス 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号

人間福祉学部開設準備室 TEL:0798-54-6844 FAX:0798-54-6845  
入試部 TEL:0798-54-6135 FAX:0798-51-0915

# 2008年4月、 「人間福祉学部」開設。

関西学院大学のスクール・モットー“Mastery for Service(奉仕のための練達)”の実現を目指し、現在の社会学部社会福祉学科をより一層発展させた「人間福祉学部」を2008年4月に新設します(届出手続中)。

開学の社会福祉教育研究の伝統を継承し、スポーツ・健康科学との融合を図るとともに、社会学や経済学をはじめとする幅広い学問分野を取り込み、地域社会と国際社会からの要請に応える、実践的な学びを提供していきます。

## 人間福祉学部 開設に向けて

人間福祉学部開設準備室長・学部長予定者  
芝野 松次郎(社会学部教授)

2008年に創立120年目を迎える関西学院は、大きく生まれ変わろうとしています。この重要な節目に、キリスト教主義教育を具現し社会に貢献してきた関西学院の「福祉」は、「健康・スポーツ」と融合し、「人間福祉学部」として生まれ変わります。人が生活する上で経験する諸問題を解決するための専門的なアプローチという観点や、人のパフォーマンスを研究することで人間の健康的な生活や質の高い生活に結びつけるという観点は、これまでもありました。しかし、こうした観点の中心に据えておかなければならないのは、人間そのものへの深い理解であり、人間のグローバルな生活環境としての社会についての幅広い理解であると考えます。グローバルな視点で両者を専門的に語る事ができる人材が今必要とされているのです。一見相容れないと思われる「福祉」と「健康・スポーツ」の融合によって、新たな可能性を存分に秘めた学部が誕生します。私たちは人間福祉学部の開設を通して、社会に新風を吹き込みたいと考えています。

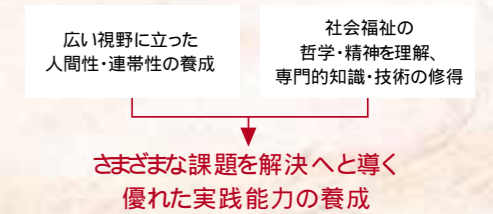


届出手続中:名称その他の計画は変更する可能性があります。  
学生の学年表示は2006年度当時のものです。

## 伝統の福祉を進化させ、スポーツ・健康科学と融合。

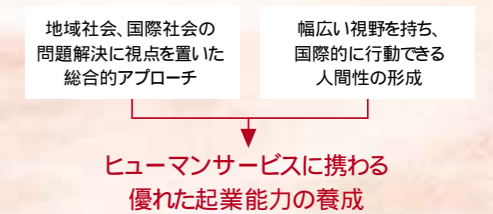
## 社会福祉学科

これまでの社会福祉学科の伝統を生かし、ソーシャルワーク・マインドを持って地域社会や国際社会で活躍できる人材を育てます。子ども、高齢者、障害を持つ人々への支援をはじめ、幅広い社会福祉の領域を網羅する科目を配し、「理論」と「実践」を両輪で学ぶことで、現場に生きる知識と技術を修得。福祉分野の資格取得も視野に入れた実践的なカリキュラムを整備しています。



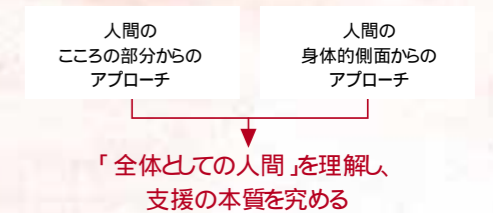
## 社会起業学科

国際化や多様化が進む現代社会では、将来どんな分野に進もうとも、グローバルな基準で有効な知識や実践力を身につけることが不可欠です。本学科では、大学生活のなかで「人間の福祉」に貢献するための発想力や、柔軟で不屈の実践力を身につけられるように、フィールドワークなどの実践的なカリキュラムを準備。「社会貢献のために現実に即した学び」を目指します。



## 人間科学科

人間科学科では、“こころ”と“身体”の両面から人間を深く理解していきます。死生学・スピリチュアリティを中心とした学問分野、身体運動科学・身体パフォーマンスを中心とした学問分野の2領域から学習。スポーツ指導・支援者をはじめ、身体やこころを病む人や悲しむ人に寄り添える者として、人に関わり支援できる人材の育成を目指します。



# 3つの学科で広がる、学びの可能性。

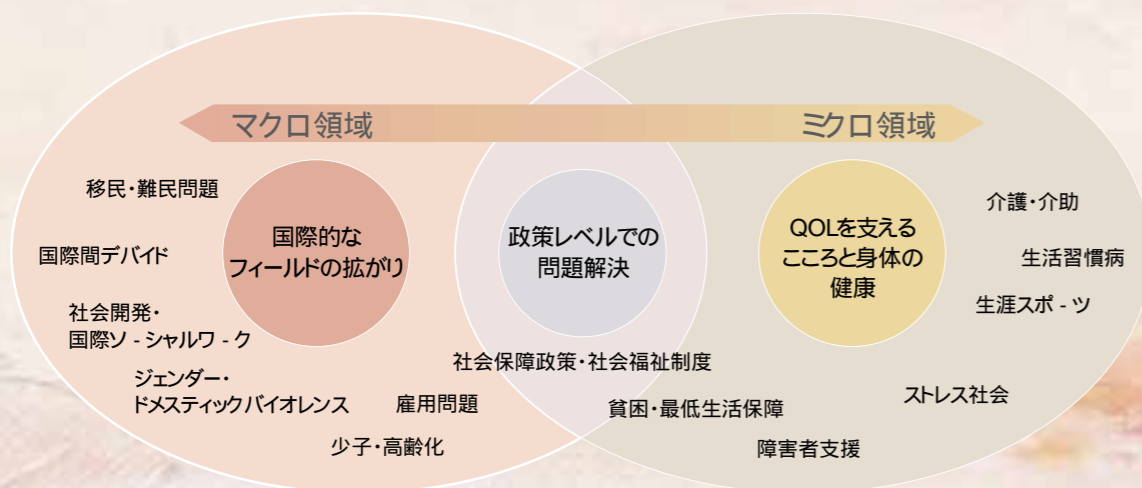
従来の「福祉」という概念をより広く捉え、

人間福祉学部では、社会福祉学科、社会起業学科、人間科学科の3学科を設定。

この3学科の学びを融合した相乗効果により、

これまでにない斬新な発想で問題を探究していくことができます。

## 3つの学科で広がる「人間福祉学部」の学び。



## 学科同士の融合により、これまでにない発想から現代テーマを探究。

**これからの社会福祉にはスピリチュアリティの視点が欠かせない。**

真の意味での豊かさとは何でしょうか。それは、単に物質的・精神的豊かさだけではなく、「何のために生きるのか」という人間の根源的な問いかけ(スピリチュアリティ)が満たされることが不可欠です。重度の障害者、こころの病を持った人、高齢者 - どの人に対しても、スピリチュアルな痛みをとらえる視点がこれからの社会福祉に求められています。そこから、どんな具体的な支援が必要かが見えてくるのです。

福祉 × 人間

**高齢化による社会問題にも、新ビジネス発想で応え、グローバルに解決する。**

スターバックスがコーヒー豆をフェアトレード(公正貿易)していること知っていますか。ホームレス高齢者に生活保護申請の支援と住宅提供をしている有限会社が国内にあります。不登校児童や子どもたちにキャンプ事業を展開しているNPO、介護の必要な高齢者や障害者向けにデイサービスを経営している民間事業もあります。福祉ニーズを起業発想で解決しようとする社会的ビジネス・モデルの実践を一緒に創出していきましょう。

起業 × 福祉

**健康を求める心理と行動を知れば、スポーツレクリエーションも起業できる。**

野球選手もサッカー選手も国際的に活躍する時代。プロ野球やJリーグは国内でも成功したビジネス事例といえるでしょう。フィギュア・スケートなども競技して楽しむ、観戦して味わうイベントとして成功させるにはスポーツ文化の振興も必要です。キャンプ、トレッキングやダンス、ゲームなどレクリエーションも広く、健康ビジネスとして社会的にも国際的にも起業が求められる時代、このサービス開拓にあなたも挑戦してみませんか。

人間 × 起業

## 実習重視の支援体制が生み出す「現場に強い関学の福祉」。

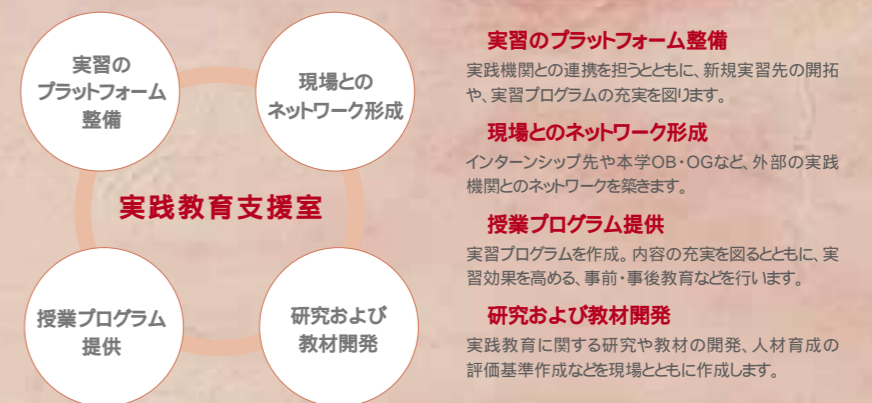
### 【実践教育支援室】

従来の実習を更に発展させ、現場とリンクした新しい教育プログラムを提供したい。

「関学の社会福祉教育」の伝統を継承し、人間福祉学部での教育の核となるのが、実践の場とリンクした学びです。そして、それをサポートするために人間福祉学部では「実践教育支援室」を設けています。なぜ実践を重視するのか？ それは、福祉の仕事では教科書通りにはいかないことが多く、現場で起こるさまざまな出来事に自ら考えて行動し、対応していかなければならないからです。つまり、学問と実践をリンクさせ、学んだことを実践の場で使える人材を養成することが必須だからです。そのために、「実践教育支援室」では、福祉士対応の現場実習を始めとして海外でのインターンシップ、NPO・NGO関連、ホスピス・病院やスポーツ関連など幅広いフィールドでの実習をサポートします。また、受け入れ先としての実践教育機関は200カ所を超え、その他スポーツを使った町おこしに取り組みなど、これまでにない新しいカタチの実習スタイルを積極的に取り入れていく予定です。さらに「福祉の現場」との連携を重視。社会福祉の最前線で活躍する本学のOB・OGとのネットワークを生かし、現場の課題やニーズをいち早く取り入れ、教育実践交流や研究活動にも力を注いでいきます。入学から卒業まで一貫した「現場主義」で、福祉業界で活躍する人材養成を支援していきます。



社会福祉学科  
川島 恵美 専任講師





一人ひとりの人間への深い理解力を備えた  
ソーシャルワーカーを育てる。

社会福祉学科 小西 加保留 教授

人々は、日頃社会の中で職場や学校、家族、地域社会等と様々な関係を持ちながら生活をしています。その際、病気や障害、加齢等のほか、経済的な問題や色々な社会的ストレスによって生じる心理・社会的な問題を抱える人々に対して、社会福祉の観点から専門的な支援を提供することをソーシャルワークといいます。私は約20年間そうした支援のための専門職 ソーシャルワーカーとして医療現場で勤務してきました。その経験から、様々な課題を抱えた一人ひとりにどう支援を提供すべきか、最適な方法を見極めるための前提となる「アセスメント」の必要性を痛感してきました。それは、援助対象者の身体的・心理的状況や生活全般、そして人間性をも理解し、また家族や周囲の人々、さらには地域との関わりや社会制度・施策をも視野に入れて、あらゆる可能性に注目しながら、支援を受ける人と共に考えることによって生まれます。今まさに支援を必要としている人と向かい合う現場では、机上で学んだ理論だけではとても対応できないこともあります。私が携わっているHIV感染者へのソーシャルワークの現場は、医療を始めとする状況がとても速いスピードで変化しています。そこで関学では、理論や方法論の学びの上に、支援に必要な知識や技術、人間への深い理解力を身につけ、それらを統合する実践力を養うために現場実習を充実させています。そして、私の専門である医療分野を始め、今日的な社会問題にも応える幅広い分野を網羅することで、単に資格取得に終わらない、一市民として社会の中で福祉力を発揮できる人材を育てることを目指しています。

# 社会福祉学 科

福祉の伝統を継承し、  
理論と実践の両輪で学ぶ。



**POINT 1.**  
福祉業界をリードする  
ソーシャルワーカーを育成。

**POINT 2.**  
「ミクロ」から「メゾ・マクロ」まで  
幅広く科目を設定。

**POINT 3.**  
現場での学びを重視し、  
実習プログラムが充実。

関学では、日本の社会福祉の先駆的な教育研究を行い、多くのソーシャルワーカーを輩出してきました。その伝統を受け継ぎ、豊かな人間性と人権意識、そして現場での実践力となる知識と技術を持ったソーシャルワーカーの育成を目指します。「社会福祉士」「精神保健福祉士」の資格取得に対応するのはもちろん、高齢者、障害者、児童分野をはじめ、近年ニーズが高まる医療・精神保健分野、国際社会福祉、犯罪や災害の被害者支援など、今日的な社会の課題解決も含めた幅広い分野のカリキュラムを設定しています。そして、ソーシャルワークの手法や技術を学ぶ「方法論」をはじめ、対個人への直接的な支援を学ぶ「ミクロ」の領域や、社会福祉の歴史や哲学、法制度、アドミニストレーションを学ぶ「メゾ・マクロ」の領域など、知識と技術を幅広く修得します。また、伝統的に現場での実習を重視する関学では、「社会福祉インターンシップ」や「医療福祉インターンシップ」などの実習プログラムを充実させ、現場と直結した実践的な学びを展開。問題把握から計画、実行、評価、運営、政策提言まで、ソーシャルワーカーに必要な実践能力を修得します。こうして4年間で理論と実践の両面から磨いた力は、これからの福祉業界をリードする資質となるでしょう。

福祉現場と連携した  
充実の実習プログラム。

きめ細やかな実習指導や、現場と直結した実践的な学びに定評があります。関学では社会福祉士の資格取得に必須の「社会福祉援助技術現場実習」を設定するだけでなく、現場での学びを重視する理由から、4年生に「社会福祉インターンシップ」や「医療福祉インターンシップ」を設けています。実習前に学生と教員が面談を重ね、学生自身の適性や実習の目的を明確にして、計200を超える実習機関から実習先を選定。4年生の実習では1年間じっくり現場を経験します。3年生の実習で見つけた課題を深めたり、将来の進路を明確にする機会に活用するなど、多くのメリットがあります。

対人援助の基礎スキル習得を  
支える設備。

ソーシャルワーカーとして求められる対人援助スキルの習得のために、面接場面をビデオに撮り、自分のコミュニケーション方法をチェックし、新たな面接技術の獲得を検証できる「コミュニケーションラボ」をはじめ、ワンウェイ・ミラーを通して個人面接、家族面接などの実際が観察できる「臨床技術観察室・面接室」、集団援助の支援を学ぶ「グループ面接室」が用意されています。これらの設備を、講義・演習・実習と有機的に連携させながら、ソーシャルワーカーとしての基礎スキルの向上を目指します。



# 高齢者福祉

高齢者福祉と聞くと、お年寄りに身体的支援の手を差し伸べる「介護」ばかりを思い浮かべる方も多いと思います。しかし、日本の高齢社会が進み、高齢者人口が増大するこれからは、お年寄り自身の自立支援を促す「エンパワメント」の視点が大切だと考えます。このエンパワメントとは、社会的に弱い立場にある人々に援助を与えるのではなく、本来持っている個性や能力を引き出して、自分たちの力で主体的に生きることを支援する方法です。たとえば、2015年には「団塊の世代」と呼ばれる、680万人の人々が65歳以上になり、いわゆる「高齢者」の仲間入りをします。こういった仕事や家事・育児の役割を終えた元気な高齢者の力を地域の子育てや介護システムづくりに巻き込んでいくこともひとつの方法です。これは地域社会にとってメリットがあるだけでなく、高齢者にとっても、今まで生きてきた経験が生かして自分の能力を発揮できるため、やりがいや生きがいを感じ、豊かな暮らしを手に入れるきっかけとなります。高齢者といえば、「介護」や「寝たきり」というネガティブな面ばかりが強調されますが、実際のところ約8割は元気な高齢者。その力をエンパワメントで生かしていくことが、私の理想であり、これからの高齢社会に求められる重要なテーマなのです。

社会福祉学科 大和 三重 准教授

# 障害文化

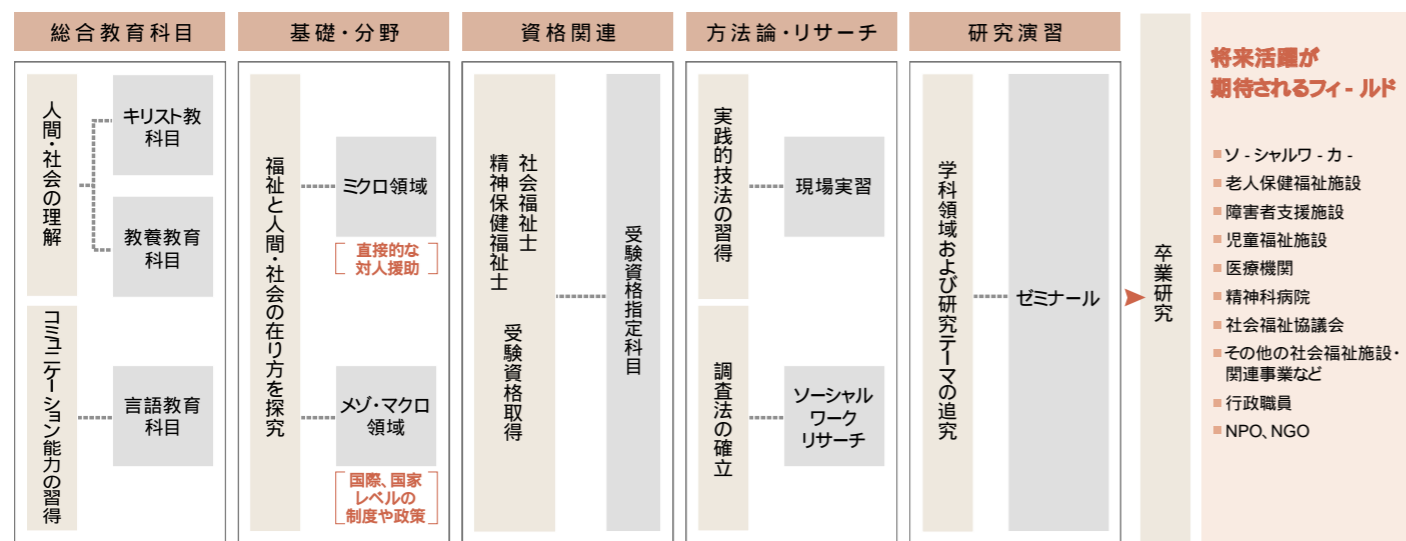
健常者は言葉を使って会話をしますが、ろうの人たちは手話を使って会話をします。健常者の世界では人に指をさすことはタブーとされていますが、手話では指をさす行為でさまざまな意味を表現します。このように健常者とろう者では、コミュニケーションの方法が全く異なるのです。従来の考え方は、障害を劣った存在と見なし、マイナス面を補うという姿勢で支援してきました。しかしながら、これは健常者の視点からの偏った発想にすぎません。障害者福祉には、これまで障害者自身の考えや価値観が一切反映されてこなかったことが問題だったのです。私は自分自身も聴覚の障害を抱えていますが、障害を欠点ではなく、先程のコミュニケーション方法の違いのように、「健常/障害」を文化の違いとしてとらえる「障害文化」の考え方を研究しています。障害者と健常者が対等なパートナーシップを築き上げ、相互の違いを文化的差異として受容、尊重しながら共に生きられる社会をつくる。この多文化共生こそが、これからの障害者福祉のあり方だと考えます。ぜひみなさんも、私のように既存の枠にとらわれることなく、新しい視点から幅広く福祉を学んでほしいと思います。

障害の漢字表現について、特に「害」の字が否定的イメージを喚起させるという理由から、ひらがな表記にされる場合があります。しかし、イギリス障害学では「社会によって無力化された人々」という意味で、"disabled people" という表記が用いられます。人間福祉学部でもその学問的立場に基づいて漢字表記しています。

社会福祉学科 松岡 克尚 准教授



## 【カリキュラム概念図】



## 【専門科目】

<b>1年次</b> 人間福祉概論 社会思想 健康科学(現代社会と健康) 人間多様性論 社会福祉の歴史 NPO論 障害学 社会病理学 社会福祉学入門 人間関係演習 社会福祉援助技術現場実習入門 <b>2年次</b> 社会福祉学原論	地域福祉論 公的扶助論 社会保障論 救急法概論 ヘルスポモーション概論 人間福祉情報論 市民社会論 高齢者福祉論 障害者福祉論 児童福祉論 医学一般 社会福祉援助技術論 社会福祉援助技術演習 介護概論	介護技術 精神医学 精神科リハビリテーション学 社会福祉思想史 社会福祉政策論A 社会福祉計画論 国際社会福祉論A NGO論 医療福祉論 性格発達論 リハビリテーション論 人権・差別問題論 職業指導 社会福祉援助技術現場実習計画	ソーシャルワーク実践A(個人・家族支援) ソーシャルワーク実践B(グループ支援) 学校ソーシャルワーク ケアマネジメント論 ソーシャルワークリサーチ <b>3年次</b> 研究演習 死生学 精神保健学 社会福祉援助技術現場実習 社会福祉援助技術現場実習指導 精神保健福祉論 精神保健福祉援助技術各論 精神保健福祉援助演習	社会福祉アドミニストレーション論 家族福祉論 ジェンダー福祉論 司法福祉論 心理検査法 アドヴォカシー論 ソーシャルワーク事例研究 ソーシャルワークリサーチ <b>4年次</b> 研究演習 卒業研究 精神保健福祉援助実習 社会福祉インターンシップ 医療福祉インターンシップ
--	---	---	---	---

取得可能な資格  
(計画中)

社会福祉士(国家試験受験資格) 精神保健福祉士(国家試験受験資格) 社会福祉主事(任用資格)  
児童福祉司(任用資格) 高等学校教諭1種(福祉)

## 【履修モデル例】

系統立ったカリキュラム  
自分の興味・関心に合わせて、広く深く学べます。  
資格も取得可能  
4年間で社会福祉士と精神保健福祉士の両方の受験資格を取得できます。充実した演習設備で実習教育にも力を入れます。

人間福祉学部では外国語科目の一つとして「日本語」を選択できます。

	1年	2年	3年	4年
総合教育科目	キリスト教と日本の福祉 日本語	文学 日本語	社会学 心理学	
学科共通	人間福祉概論	社会福祉学原論	精神保健学	
基礎・分野・ゼミ	社会福祉学入門 社会福祉の歴史 障害学	障害者福祉論 児童福祉論... 高齢者福祉論 性格発達論	研究演習 家族福祉論 国際社会福祉論 心理検査法	研究演習 卒業研究
資格関連等	社会福祉援助技術現場実習入門 人間関係演習...	社会福祉援助技術論 社会福祉援助技術演習 社会福祉援助技術現場実習計画 ソーシャルワークリサーチ	社会福祉援助技術現場実習 精神保健福祉援助技術各論 精神保健福祉援助演習 アドヴォカシー論	精神保健福祉援助実習

この表は卒業に必要な科目の一部を記したものです。

<b>児童福祉論</b> 児童福祉法改正等の現状をふまえ、児童家庭福祉の理念や目的、社会福祉サービス、母子保険制度などについて考えます。	<b>人間関係演習</b> 体験学習プログラムにより、対人感受性や人間関係能力を養い、専門職アイデンティティの形成を促します。	<b>ジェンダー福祉論</b> 男女共同参画社会の担い手となるべく意識形成を目指します。
---	--	---

## 教員就任予定者

教授 石川 久展 社会福祉調査法	教授 小西 加保留 医療福祉、HIV感染症	助教 中島 尚美 社会福祉方法論、社会福祉実習	教授 A 障害者福祉、アドヴォカシー
准教授 池埜 聡 個人・家族カウンセリング、心的外傷(トラウマ)	教授 芝野 次次郎 児童福祉	准教授 前橋 信和 子ども家庭福祉	准教授 B ソーシャルワークリサーチ
准教授 大和 三重 高齢者福祉	助教 高杉 公人 地域福祉、社会福祉実習	准教授 松岡 克尚 障害者福祉、精神保健福祉	准教授 C ジェンダー福祉論
専任講師 川島 恵美 対人援助	准教授 陳 礼美 社会福祉政策、老年学	教授 室田 保夫 社会福祉思想史	

社会福祉学科  
「こんなところに期待しています。」



社会学部 4年生  
清水 俊介  
岡山・県立岡山操山高校出身

福祉マインドを胸に、大学の経験を社会に生かす。

私が社会福祉を専攻したのは、「人間」に興味があったからです。実際に学んでみると、福祉の幅の広さ、奥深さに驚かされました。特に実習では、日常の「生活介助」から、自分自身の価値観も求められる「心のケア」まで、人間のすべてを理解する視野の広さが必要です。また、福祉マインドの根底にあるのは「お互いを思いやる心」。卒業後は、多くの仲間が社会福祉士として歩むなか、私はこの福祉マインドを胸に銀行へ就職。4年間で学んだ人間への理解をベースに、人と人とのつながりを大切に、新しい挑戦を目指す起業家を支援していきたいです。

# 社会起業学

社会の課題解決に向けて  
行動を起こす。



#### POINT 1.

社会福祉学を基本に  
幅広い分野から総合力を養う。

#### POINT 2.

国際化・多文化化に  
実践的なカリキュラム。

#### POINT 3.

公務員、起業家、企業人、  
NPO・NGOなど、進路は多彩。

社会起業学では、「人間の福祉」に貢献するための事業・政策を企画・実行する能力を養成。福祉の視点から現代の課題を見つけ、あるべき社会を考えて、これまでにない発想で企画し、世界のどこにもなかった住みやすいコミュニティをつくることを目指します。そのために、複雑化した現代社会を総合的に捉える視点を養うため、社会福祉学をベースに経済学、法学、社会学など幅広い分野から様々な科目を展開しています。また、国際化や多文化化が進む現代社会では、グローバルな基準で物事を捉える力、知識や実践力を身につけることも不可欠です。そこで、2年生では学科独自の留学システムと海外でのフィールドワーク、3年生では海外インターンシップを設定。国内においても企業やNPO、行政と連携した実践的なカリキュラムを用意しています。このように社会との密接な接点のなかで、グローバルな視点を持ちながらも地方自治体や地域社会に市民の目線で貢献していける企画力・行動力を持った人材を育成していきます。

卒業後は、住民の目線で公共性を実現できる公務員や、CSR（企業の社会的責任）が注目されるなか社会貢献事業を立案できる企業人、起業家、NPOやNGOなど、多方面での活躍が期待されます。

#### 社会起業学独自の 国際的プログラム。

4カ月間のカナダへの留学プログラムを設けています。この学科独自のプログラムは、2年生が対象で、希望者全員が参加可能。現地の大学で、英語でのディスカッション能力やコミュニケーション能力を磨きます。国際舞台で活躍するための礎を築きながら、3年生では実際に「海外インターンシップ」などに参加。海外の企業、自治体、NPOで長期にわたる就業体験ができます。こういった国際的で実践的な教育は、1学年70名に対して専門教員9名という、手厚い教育が可能な本学科だからこそ。国際化に対応したコミュニケーション能力と実践力を、ぜひ社会起業学でつけてください。

社会の課題に、  
自由な発想と行動力で挑んでほしい。

社会起業学 牧里 毎治 教授

社会起業と聞くと、みなさん「ベンチャー」をイメージされますが、この学科が目指すものはそれではありません。たとえば、定職が見つからないホームレスに、「近年「雑誌販売」という仕事を提供することでその自立をサポートする企業が生まれています。また私の専門の「地域福祉」の分野でも、ひとり暮らしの高齢者をサポートする個食配達や、日本に外国人が増えるなか多文化共生の保育園を運営するものなどが民間の力で立ち上げられています。このように社会起業学が目指すのは、利益のみを追求するのではなく、福祉の視点から現代社会の問題点、言い換えれば人や社会のニーズを見つけ出し、自由な発想で今ある資源（シーズ）を活用しながら、よりよい社会をつくること。社会の問題点を解決する役割を担う従来型の行政が縮小に向かうなか、これからの社会には、市民の目線からニーズを掴み、斬新なアイデアを持って、行動する力が求められています。だからこそ、この学科で学んだみなさんの出番です。「これまでにない新しい社会」をつくるという難題だからこそ面白い「起業」のテーマにぜひ挑戦してください。



# 多文化共生

現代社会には、ホームレス、貧困者、セクシャル・マイノリティ、外国人など、多くの「社会的弱者」と呼ばれる人々がいます。私の専門は「多文化共生」ですが、多文化化・国際化する社会では、こういった社会的弱者も含めて、すべての人々が幸せに生きることができる社会づくりが不可欠です。たとえば、2006年のノーベル平和賞受賞者ムハマド・ユヌス氏が設立した「貧者の銀行」。途上国の貧困者に無担保・低金利で融資を行い、その人々の社会的自立を支援し、経済・社会発展に大きく貢献するシステムが高く評価されました。従来の「銀行」に社会的弱者を自立支援するという福祉の発想を取り入れ、社会全体の幸福につながる新しいビジネスへと生まれ変わらせたのです。これはこの学科の目指すひとつのモデル。社会起業の力をもって社会的弱者と呼ばれる人々の自立を支援する方法は、途上国の開発分野などでも現在注目されているのです。ですから、この学科で身につけた力が生かせるのは日本だけではなく、海外での実践的な授業も充実させています。ぜひ卒業後は、国連やNGOなどの国際的な開発支援機関など、グローバルなフィールドでも存分に活躍してほしいと思います。

社会起業学科 武田 丈准教授

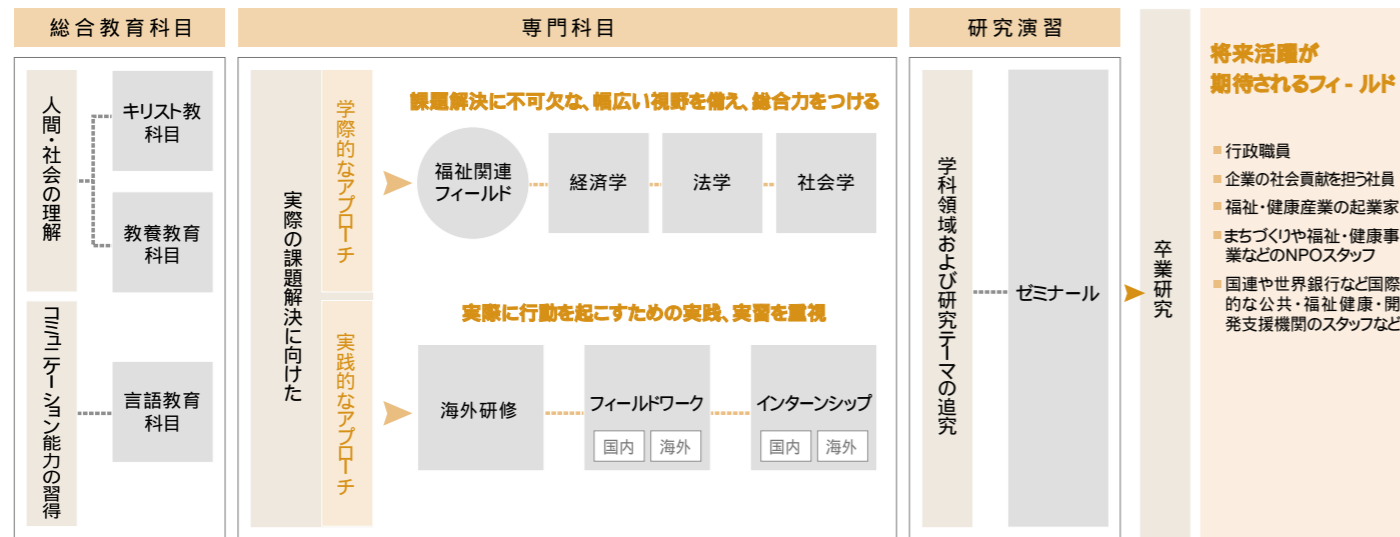
# オーダーメイドの社会設計

私は、経済学(財政学)を専門に研究しています。現代の日本社会の抱える様々な問題の解決策として、日本の経済社会システムをグローバルスタンダード(世界標準)に近づけようとする動きがあります。しかし、それがこの国にふさわしい社会システムになるのかという疑問です。なぜなら、その国や地方には固有の歴史や文化、人々の生活があり、そのなかで定着した社会システムや制度には、必ず現在に至った理由があるからです。真に豊かな社会をつくるには、地域ごとの個性と価値基準を組み合わせ「オーダーメイドの社会設計」が今後ますます不可欠でしょう。そこで私が担当する「地方財政論」などの授業では、この地域の固有性に目を向けて、新しい社会をつくっていく企画力を育てていきたいと思っています。たとえば、日本国内を見てもわかるように、世界でひとつとして同じ社会はありません。それぞれの国や地域が抱えている文化・歴史的背景や課題が異なれば、もちろんアプローチ法も異なります。つまり、地域の固有性に目を向けて企画ができるということは、どんな問題に対しても総合的に考え、解決できる力がつくということです。実際、今の世の中はそんな課題解決型の人材を渴望していると思うのです。

社会起業学科 小西 砂千夫 教授



## 【カリキュラム概念図】



## 【専門科目】

- |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| <p><b>1年次</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人間福祉概論</li> <li>社会思想</li> <li>健康科学(現代社会と健康)</li> <li>人間多様性論</li> <li>多文化共生論</li> <li>社会組織論</li> <li>NPO論</li> <li>ヒューマンサービス産業論</li> <li>ボランティア論</li> <li>スポーツ社会学</li> <li>社会思想演習</li> </ul> <p><b>2年次</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉学原論</li> <li>地域福祉論</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>公的扶助論</li> <li>社会保障論</li> <li>救急法概論</li> <li>ヘルスプロモーション概論</li> <li>人間福祉情報論</li> <li>市民社会論</li> <li>社会起業学概論</li> <li>社会問題論</li> <li>国際問題論</li> <li>基本的人権論</li> <li>現代ジェンダー論</li> <li>自治体経営論</li> <li>社会調査法</li> <li>ソーシャル・マーケティング論</li> <li>福祉情報リサーチ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ・ビジネス論</li> <li>NGO論</li> <li>コミュニティワーク論</li> <li>社会福祉政策論B</li> <li>社会福祉計画論</li> <li>社会開発論</li> <li>国際社会福祉論B</li> <li>財政社会学</li> <li>公共政策論</li> <li>国際ソーシャルワーク</li> <li>多文化ソーシャルワーク</li> <li>起業演習</li> <li>インターンシップ演習</li> <li>海外フィールドワーク</li> <li>海外フィールドワーク演習</li> </ul> | <p><b>3年次</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究演習</li> <li>死生学</li> <li>精神保健学</li> <li>地方財政論</li> <li>ビジネス・プラン論</li> <li>福祉マネジメント論</li> <li>生活協同組合論</li> <li>社会福祉協議会論</li> <li>CSR論</li> <li>労働サービス論</li> <li>市民参加論</li> <li>住民自治論</li> <li>情報公開論</li> <li>スポーツ経営学</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザイン論</li> <li>社会保険論</li> <li>インターンシップ</li> <li>アドバンス・インターンシップ演習</li> <li>海外インターンシップ</li> <li>海外インターンシップ演習</li> </ul> <p><b>4年次</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究演習</li> <li>卒業研究</li> <li>アドバンス・インターンシップ</li> </ul> |
|---|---|---|---|---|

取得可能な資格  
(計画中)

社会福祉士(国家試験受験資格) 社会福祉主事(任用資格)  
児童福祉司(任用資格) 高等学校教諭1種(公民)

## 【履修モデル例】

問題解決能力を養成  
世界で活躍できるように、理論と実践力、そしてコミュニケーション能力を兼ね備えた問題解決型の人材を育てます。  
多彩な講師を招聘  
様々な現場で活躍中の講師を招きます。単なる座学にとどまらない知的興奮に満ちた授業を展開します。

	1年	2年	3年	4年
総合教育科目	英語コミュニケーション キリスト教と世界の福祉	英語短期留学 ICT演習	政治学(国際政治を含む) 経済学(国際経済を含む)	
専門科目	人間多様性論	人間福祉情報論	市民社会論	
	社会思想演習 社会組織論 NPO論	福祉情報リサーチ 起業演習... ソーシャル・マーケティング論 社会起業学概論 NGO論	研究演習 ビジネス・プラン論 情報公開論... 財政社会学 福祉マネジメント論	研究演習 卒業研究
	多文化共生論	海外フィールドワーク インターンシップ演習	インターンシップ 海外インターンシップ	

この表は卒業に必要な科目の一部を記したものです。

- |   |  |  |
|---|--|--|
| <p><b>起業演習</b><br/>起業経験者をゲストに招いて、実際の起業プラン設計、創業スケジュール作成など、シミュレーション学習します。</p> | <p><b>情報公開論</b><br/>個別の自治体の事例を踏まえながら、自治体や政府の情報開示の課題と具体的方法について探ります。</p> | <p><b>国際ソーシャルワーク</b><br/>困窮、紛争、人身売買、児童労働、環境破壊、難民・移民などの国際的課題に対して、ソーシャルワーカーの視点で学びます。</p> |
|---|--|--|

## 教員就任予定者

准教授 川村 暁雄 2009年 就任予定 NGO、基本的人権	准教授 武田 丈 国際ソーシャルワーク	教授 牧里 每治 地域福祉論	教授 E インターンシップ
教授 小西 砂千夫 地方財政、自治体経営	専任講師 林 直也 スポーツ社会学	教授 D インターンシップ	准教授 F 2009年 就任予定 社会調査、ジェンダー
教授 神野 直彦 2009年 就任予定 市民社会論、財政社会学			

社会起業学科  
「こんなところに  
期待しています。」



商学部 2年生  
石原 奈津子  
大阪・府立豊中高校出身

事業を通して、  
人を幸せにできるやりがい。

2006年の「KGビジネスプランコンテスト」で最優秀賞を受賞しました。そのプランとは、身長143センチと小柄な私の「世の中には、小さいサイズの服が少なすぎる」という悩みから考案した「Sサイズ専門のアパレル事業」。受発注の仕組みから資金・店舗計画まで、試行錯誤しながら作成。商学部で学んだマーケティングの知識も役立ちましたが、実際に大きかったのは私自身の経験とアイデア。世の中の課題を見つけ、実際にビジネスで解決し、同時に多くの人々を幸せにできる点にやりがいを感じました。この面白さは、新しく誕生する社会起業学科の魅力にも通じるといいます。



「こころ」と「身体」は両輪。  
 学科のコンセプトは、人間を深く理解する学び。

人間科学科 河鱈 一彦 教授

人々が抱える問題のなかで、「こころ」と「身体」が相互に関連していることが多くあります。たとえば、高齢者が歳を重ねるにつれて腰が痛くなったり認知症が始まったりするのは「身体」の領域ですが、この身体の症状によって苦痛を感じたり憂鬱になったり、さらには「こんなに辛いのなら死んだ方がまし」と思うのは「こころ」の領域です。この様に、「身体的健康を失う」ことから「生きがいの喪失」を生じることもよくあるのです。また、逆に「こころ」が「身体」に影響することも多数あります。運動競技において、筋・骨を鍛えて技を磨いても超えられないものがあるとき、自身の「こころ」の弱さを克服したり、ライバルとの精神的な切磋琢磨によって、立ち上がった壁を乗り越えることができるのはその一例です。つまり、人間の「こころ」と「身体」は両輪。そのどちらかひとつが欠けても、人間は存在しません。そこで本学科では、この2つの側面から人間を考え、「生」から「死」まで幅広いフィールドで探究していきます。このように、より深く人間を理解することが人間科学科のコンセプト。この人間への理解を通して「人間とは何か」という根源的なテーマに挑んでいきたいと思ひます。



「こころ」と「身体」を学び、  
 豊かな人間の生き方を探る。

POINT 1.  
 「こころ」と「身体」、  
 「生」から「死」まで広く深く学ぶ。

POINT 2.  
 理論と実践が調和した  
 「体験学習」を重視するカリキュラム。

POINT 3.  
 人々のクオリティ・オブ・ライフの  
 向上を支える専門家・指導者を養成。

人間を「身体を持ったスピリチュアルな存在」としてとらえ、「こころ」と「身体」という2つの視点から、人間のあり方や、人間が社会のなかでどのように自己実現を果たしていくべきかを研究します。そこで「死生学・スピリチュアリティ」を中心とした学問分野と「身体運動科学・身体パフォーマンス」を中心とした学問分野の2領域から学習。また、「生」から「死」までの人間のライフステージを通して、幅広い科目を設けています。

カリキュラムにおいては、「理論」と「実践」が調和した、バランスのとれた「体験学習」を重視。講義では、心理・運動データの収集・分析など人間への科学的アプローチ法を学ぶほか、理論的な思考法や知識を学びます。そのうえで、座学で学んだ理論を自らの力として体得するための実習・実技科目を展開。目的意識を持った学びを可能にし、理解をより一層深めていきます。

これらの学びから得られた深い人間理解をもとに、人々のクオリティ・オブ・ライフを支える専門家や指導者を育成。体育教師やスポーツトレーナー、スポーツジャーナリストのほか、教育現場や福祉現場で、専門職として人の自己実現やその支援に関わる実践家を養成。また、地域社会のなかで身体やこころを病む人を支援できる人材を育てます。

人間を深く理解する  
 多彩な専門科目・教員。

人間を深く理解するため、人間の多面的な分野を網羅する多彩な専門科目・教員を配しています。「身体」の分野では、運動生理学やスポーツ方法学といった科学的な領域からレクリエーションやスポーツ指導といった実技的な領域まで広く科目を配置。「こころ」の分野では、死生学、悲嘆学や精神医学を中心としながら、社会や文化の捉える生と死についても学びます。人の一生に焦点を当て、子ども学から老年学、ターミナルケア論まで、様々な分野のスペシャリストから専門的に学べるのも人間科学科の特色です。

# 人間科学科





# スピリチュアリティ

死を迎える場所が家から病院へ移るなど、現代では「現実の死」が日常から切り離され、ゲームやテレビには「仮想の死」があふれています。死に対する意識が希薄な時代だから、「生きる」ことも軽視されているように思います。なぜなら、「どう死ぬか」を考えることは、「どう生きるか」につながるからです。与えられた生をどう生きるか、私はこの学科でもう一度人間のあり方、生きる意味を問い直したいと思います。そして、「どう生きるか」を考えるとき、重要となるのが、人間科学科の学びの核となる「スピリチュアリティ」です。「なぜ生きるのか」は、「人生で何が大切なのか」「この苦しみに意味があるのか」といった、人間存在の根源的な領域であるスピリチュアルな部分が大きく関わります。そしてこれは、人が生きるときの価値基準となります。一方で今、「自殺」や「安楽死」など生命に関する問題がクローズアップされるなか、このスピリチュアリティの探究が、これらの問題を解く大きな鍵となるはずで、こうして人間の「こころ」を深く知り、「身体」の知識も得た卒業後は、苦しみや悲しみをもつ人に寄り添える医療・福祉分野、命の大切さを教えていける教員など、その進路は幅広いと考えられます。そしてなにより自分自身にとってより豊かな人生を築ききっかけになるでしょう。

人間科学科 藤井 美和 准教授

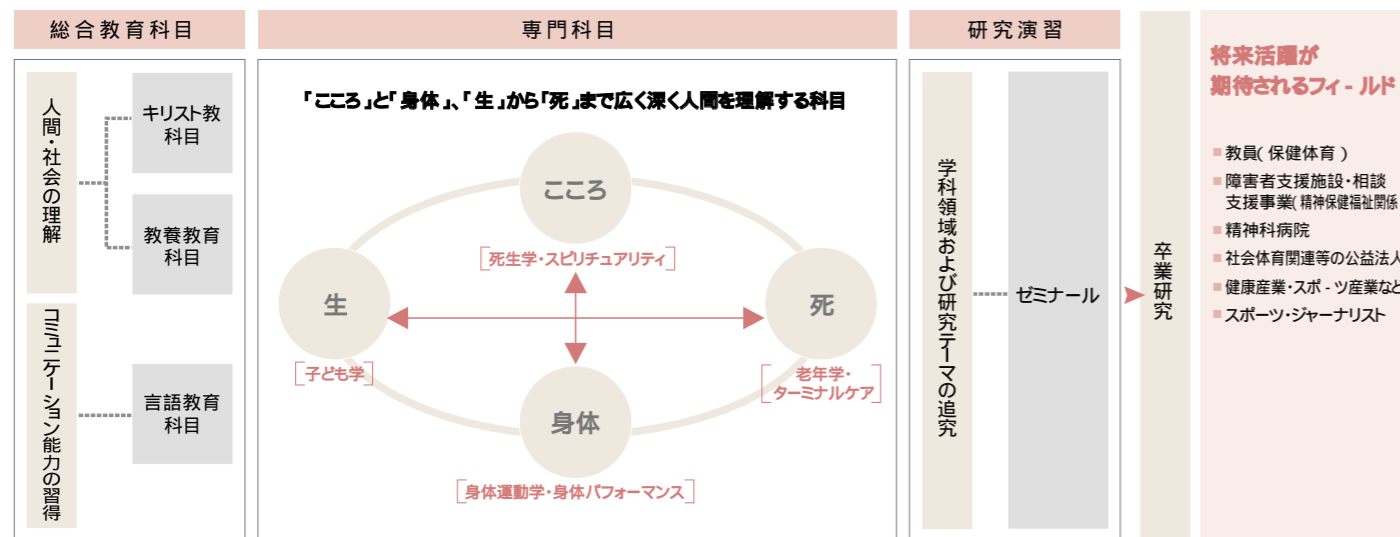
# スポーツ科学

私の専門は、スポーツや人間の「身体の動き」について数理科学的なアプローチを行うスポーツ科学という分野。スポーツを行う、あるいはスポーツの指導をする際に、とすれば感覚で捉えがちな通説を、数理科学的にアプローチすることで「理論」として実証するものです。たとえば、相撲界には「押さば押せ、引かば押せ、押しは相撲の極意なり」という言葉がありますが、実際にどんな技を使ったときに勝つのかを調べて分析することで、科学的な見地からこの言葉を理解することができます。このように、スポーツにおけるさまざまな現象もスポーツ科学の目で見ると「一流選手と二流選手の違い」や「スポーツ指導者の経験的な勘」など、今まで「なんとなく」でしかわからなかったことが、科学的な根拠をもって解明できるのです。しかしながら、これをただ頭で理解するだけで終わっては意味がありません。相撲で「勝ちにつながる有効な技」を知ったとしても、そのことを稽古に生かし、勝負で使えなければ意味がありません。だからこそ、人間科学科では「理論」と「実践」を重視しています。スポーツ科学は「理論」を学ぶ研究分野ですが、それを「実践」で生かすことが大切なのです。この両立によって、人間の身体運動を、ひいては人間を深く理解する力が養成されると考えています。

人間科学科 甲斐 知彦 准教授



## 【カリキュラム概念図】



## 【専門科目】

<p><b>1年次</b></p> <p>人間福祉概論 社会思想 健康科学(現代社会と健康) 人間多様性論 人間科学入門 生命倫理学 文化人類学 子ども学 死と病の文化史 老年学 生理解剖学 衛生学 公衆衛生学 身体運動文化学 スポーツ栄養学</p>	<p>体操 ダンス 水泳 陸上競技 武道 球技</p> <p><b>2年次</b></p> <p>社会福祉学原論 地域福祉論 公的扶助論 社会保障論 救急法概論 ヘルスプロモーション概論 人間福祉情報論 市民社会論 人間科学リサーチ法基礎</p>	<p>現代人間学 精神医学 精神科リハビリテーション学 精神保健福祉援助技術総論 医療福祉論 悲嘆学 スピリチュアリティ論 医学一般 運動生理学 発達運動学 学校保健A (学校安全、救急処置を含む) 学校保健B (小児保健・精神保健を含む) 障害者スポーツ論 野外教育論</p>	<p>障害者スポーツ演習 野外教育演習 子どもとQOL</p> <p><b>3年次</b></p> <p>研究演習 死生学 精神保健学 精神保健福祉論 精神保健福祉援助技術各論 精神保健福祉援助演習 ターミナルケア論 グリーフケア論 デス・エデュケーション 死生文化論 人間科学リサーチ法 音楽療法</p>	<p>体育原理 スポーツバイオメカニクス 運動学(スポーツ運動学を含む) 発育健康学 体育心理学 ユース・スポーツ指導論 人間科学実験法</p> <p><b>4年次</b></p> <p>研究演習 卒業研究 人間科学フィールドワーク 精神保健福祉援助実習</p>
---	---	---	---	---

取得可能な資格  
(計画中)

精神保健福祉士(国家試験受験資格) 社会福祉士(国家試験受験資格) 中学校教諭1種(保健体育) 高等学校教諭1種(保健体育) 社会福祉主事(任用資格) 児童福祉司(任用資格) 障害者初級スポ・ツ指導員など

## 【履修モデル例】

人の痛みに寄り添える力を育む  
「死」や「生」に焦点を当てた授業を通して、豊かな人生を送るだけでなく、痛みを持つ人に寄り添える人材を育てます。  
理論と実践を兼ね備えたスポーツ指導者を育成  
勤や経験に頼らない、理論と実践に裏づけされたスポーツ指導者や専門職の育成を目指します。

「こころ」を中心に学ぶ

	1年	2年	3年	4年
総合教育科目	キリスト教 日本手話	社会学 心理学	哲学	
専門教育科目	生命倫理学 老年学 子ども学	スピリチュアリティ論... 現代人間学 悲嘆学	ターミナルケア論 死生学 音楽療法 研究演習	研究演習 卒業研究
	健康科学	ヘルスプロモーション概論	障害者スポーツ論	

「身体」を中心に学ぶ

	1年	2年	3年	4年
総合教育科目	スペイン語 芸術	心理学 ICT演習		
専門教育科目	生理解剖学 衛生学 球技	運動生理学 発達運動学 野外教育論	体育原理 スポーツバイオメカニクス... 体育心理学 研究演習	研究演習 卒業研究
	文化人類学	医学一般	精神保健学	

この表は卒業に必要な科目の一部を記したものです。

<p><b>スポーツバイオメカニクス</b> 解剖学・生理学・力学等の基礎学問を 学び、競技、学校、各種施設にて応用可 能な知識・技術を学びます。</p>	<p><b>スピリチュアリティ論</b> 様々な分野で関心を集めているスピリ チュアリティに関する研究の現状を紹 介し、課題と方法を探求します。</p>	<p><b>人間科学リサーチ法</b> 調査に関する倫理について理解を深め、実際 に統計ソフトを用いて様々な統計解析を実施。 論文の書き方や発表方法についても学びます。</p>
---	--	--

## 教員就任予定者

教授 ANBÄCKEN, Els-Marie 老年学、ターミナルケア	教授 河鱈 一彦 運動生理学	准教授 藤井 美和 死生学	准教授 山 泰幸 死生文化論、文化人類学
教授 井出 浩 精神保健学、精神医学	教授 才村 純 家族福祉論	准教授 溝畑 潤 発達運動学、ユース・スポーツ指導	教授 G 衛生学、スポーツ栄養学
准教授 甲斐 知彦 学校保健、野外教育	准教授 佐藤 博信 障害者スポーツ	准教授 嶺重 淑 キリスト教倫理学	准教授 H 生命倫理、グリーフケア

人間科学科  
「こんなところに  
期待しています。」



社会学部 3年生  
杉浦 知樹  
兵庫・県立三木北高校出身

ゼミの「死生学」が  
クラブ活動でも支えに。

体育会ワンダーフォーゲル部での活動の柱である登山をしていると、「身体」だけを鍛えていても不十分だと痛感します。部員一人ひとりの「こころ」が前向きで、かつ落ち着いていなければ、充実した活動ができないのです。彼らを励まし、サポートすることが主将としての私の大きな課題。このときにゼミで学んできた「死生学」が大きな助けになります。「死」を追究することは、今生きる人たちの「生」や気持ちを理解することにつながります。だから人間科学科ができると聞き、「もっと早くあったら入学したのに」と、ちょっと口惜しいのが本音。「一人ひとりの幸せ」を、身体・こころの両面から手助けできる力がつく学科になると期待しています。

## OB・OG interview

社会で活躍する  
先輩からのメッセージ。

こころと身体のバランス、  
そして強い意志。  
関学で培われた精神が、  
メジャーでも生きています。

メジャーリーグでは、一流のプレーヤーほどファンや地域社会を大切に、有事の際には必ず手助けをします。それはファンへの感謝の気持ちと日々の鍛錬が土台にあるからで、自分を磨くことができない人間には、人や社会のために貢献するという発想は生まれてこないと思います。この考えは関学のスクールモットー“Mastery for Service”にも通じます。また、アメリカには異なる文化や宗教をもつ人々が世界中から集まっていますが、それぞれの違いを超えて理解しあう努力は欠かせません。英語力の向上も必要ですが、相手を敬う姿勢が何よりも大切です。皆さんもそれぞれ目標をお持ちだと思いますが、目標を達成するためには、こころと身体のバランスを保ち、強い意志を持つことです。たとえ今が困難な状況でも、意志を持ち続けてさえいけば展望は開けるといいます。技術に限界はあっても、こころに限界はありませんから。



### セントリス・カージナルス 田口 壮 (1992年商学部卒業)

profile  
1991年ドラフト1位でオリックス入団。ベストナイン1回。ゴールデングラブ賞5回。2002年カージナルスに移籍。2006年ワールドシリーズ制覇に貢献。毎年、地元西宮市の少年野球チームに野球用具を寄付するなど、チャリティー活動にも積極的に参加している。

## 新しい施設

実践的な学びをサポートする  
最新の教育施設。



2007年4月現在



#### 【実践教育支援室】

常駐している教員や助手への相談や、資料の閲覧など  
もできる開放的なスペースです。

#### 【個人面談室】

1対1での面談ができる、個人面談用の部屋です。

#### 【コミュニケーションラボ】

対人援助のロールプレイングを録画、モニターできます。  
120～130人収容可能な大空間で、グループ討議などを行えます。  
ミュージックセラピーなど、多機能に利用できる演習室です。

#### 【グループ面談室】

少人数での面談やプレゼンテーションの準備に利用できる  
面談室です。

## OB・OG interview



児童養護施設 博愛社  
久山 啓(児童指導員)  
(2003年社会学部社会福祉学科卒業)

### 関学で学んだ社会福祉の精神と ソーシャルワーク的視点が原点。

児童養護施設で子どもたちと共に生活しています。子どもたちを朝起こして、朝食を作り、学校に送りだし、帰宅してくと宿題を見たり、一緒に遊んだり、夜寝かせるまで子どもたちと過ごします。子どもたちの笑顔や寝顔に素直に癒される思いもありますが、子どもたちには親の虐待や病気など様々な背景があり、心のケアが大切な仕事です。私も父性的な役割を意識して、時に厳しく子どもに接することもあります。子どもの心を満たし癒していくことは容易なことではありません。児童養護施設は、テレビ番組でも誇張された表現がされるなど、まだまだ社会認知されていないと感じています。私自身は教員志望でしたが、3年生の夏休みに児童養護施設で実習したことが、この職を志す決め手になりました。理想と現実の狭間で、学んだ事柄の一つひとつを実践していく中で、社会への啓蒙的な役割を果たせるようになりたいと思う毎日です。定評ある関学の福祉教育の中で得たソーシャルワーク的な視点が、今の私を支えてくれています。

## OB・OG interview



(財)アジア・アフリカ国際奉仕財団  
大森 恵実  
(2006年社会学部社会福祉学科卒業)

### 自ら動き、身体で学んだ学生時代 現地事情を汲み取った支援を展開。

国際協力に関心を持つようになったのは、大学2年生の夏休みに初めてタイとベトナムを訪問してからです。ストリートチルドレンなど貧困の実態を目の当たりにし、何か自分にできないかと強く感じました。この経験をきっかけに、国外でのボランティアや研究会、NGOの活動に参加するなど、体当たりで国際協力のあり方を学ぶようになりました。同時に活動を支えるための専門知識や能力の必要性を感じ、大学の授業や図書館も積極的に活用しました。関学には、NGOへのインターン制度や、親身に指導してくださる先生がいて、自分の関心を深める機会を与えてもらいました。現在は主にインドで支援活動をしている団体に勤め、学生への奨学金や学校運営助成などの教育支援を中心に活動しています。普段は日本で現地との連絡調整を行い、年に何度かは現地を訪れ、事業の進捗や課題などを確認しています。また、団体の活動の周知と活動資金の獲得のため、募金活動に工夫をしたり、ホームページや刊行物を充実させるなど広報にも力を入れ始めました。「自らが動けば、視点も環境も変わっていく」、学生時代に培った行動力とネットワークは私の貴重な財産となっています。

西宮上ヶ原キャンパスに、新たな講義棟「G号館」を建設中。これは、人間福祉学部の拠点となる施設です。地上3階(一部4階)、地下1階、鉄筋コンクリート造りで、完成は2008年3月の予定です。

### 充実した実習室

新しい施設は、実習室が充実しています。そのひとつがコミュニケーションラボ。ビデオカメラ、モニター、DVDなどを駆使して対人援助の場面を再現することができます。援助の技法をシミュレーション体験するとともに、モニター画面で自分の援助スキルをチェックすることも可能。実際の援助の現場に入る前にトレーニングを積むことで、より円滑に福祉の現場に立つことができるよう配慮されています。



## 概要

1. 学部名称 ----- 関西学院大学人間福祉学部 / School of Human Welfare Studies
2. 学科名・学位等 ----- 社会福祉学科 / Department of Social Work  
(入学定員130名、収容定員520名)  
取得学位...学士(社会福祉学)  
社会起業学科 / Department of Social Organization Development  
(入学定員70名、収容定員280名)  
取得学位...学士(社会起業)  
人間科学科 / Department of Holistic Human Sciences  
(入学定員100名、収容定員400名)  
取得学位...学士(人間科学)
3. 設置年度 ----- 2008年度(平成20年度)
4. 設置キャンパス ----- 西宮上ヶ原キャンパス